

出前講座 報告書

| | | | |
|---------|--|-----|------|
| 開催日時 | 平成27年8月18日(火) 15時30分～17時00分 | | |
| 開催場所 | 伊賀市議会第1委員会室 | | |
| 申請団体等名称 | 上野文化美術保存会、四鬼会、楼車会 | | |
| テーマ | ・上野天神祭行事の運営と今後について ・だんじり、鬼行列運営に対する補助金について | | |
| 委員会名等 | 総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会 | | |
| 出席議員 | 【総務常任委員会】福田香織(副委員長)、安本美栄子(総務常任委員) | | |
| | 【教育民生常任委員会】森 正敏(委員長)、市川岳人(副委員長) | | |
| | 【産業建設常任委員会】空森栄幸(委員長)、田中 覚(副委員長) | | |
| | | 記録者 | 福田香織 |

【講座・意見交換等の内容】

○団体より

- ・これまで上野天神祭り等の行事に対して市から支出されていた補助金が、平成27年度から減額されることとなった。本行事の現状や補助金の使い方について、議会としても認識いただきたい。
- ・補助金が減額され、ボランティアなど応援いただく方に昼食代等も出せないということになれば、今後応援に来ていただけるかどうか大きな問題である。
- ・だんじりを所有するある町では、こどもの囃子、曳き手、梃子、楼車周辺の警備、指揮、役員等で人員が79名必要であるが、自町では28名しか用意できない。他から51名の応援をいただかないと運営できないという現状である。
- ・1面数千万円かかるだんじりの幕の修繕については、国等から補助があるものの自治会からの支出も相当な負担となっている。加えて後継者や指導者がこの先いなくなる時代がやってくることも考えられ、伝統行事を続けていくことへの問題が数多くある。
- ・この行事は、400年の歴史と伝統のある伊賀で唯一の国指定重要無形民俗文化財である。市の支援についても集客数を根拠とするなど他の行事との差別化をお願いしたい。また、労力を裂いてだんじり会館へ搬出し、1年間を通じて出陳していることへの評価もきちんと行ってほしい。
- ・行政の中で、ハード面の補助等にかかる窓口は教育委員会となっているが、ソフト面の振興を図る窓口がない。行政や民間、市民のお力を借りられるような体制づくりが出来るよう、この行事の担当窓口を設置してほしい。

○議員より

- ・祭りの公益性、伝統行事としての評価の仕方によって、補助金条例の運用も変えるべき。場合によっては、伝統行事を継承するための条例の整備も必要。
- ・市の関与、市との協働という部分での議論が足りない。市におけるこの行事の位置付けをしっかりと確立する必要がある。

伊賀市議会議長 様

平成27年8月31日

伊賀市議会申し合わせ事項7-4(2)の規定により提出します。

教育民生常任委員長 森 正敏
産業建設常任委員長 空森栄幸
総務常任副委員長 福田香織